

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-180683

(P2002-180683A)

(43) 公開日 平成14年6月26日 (2002. 6. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	キーワード (参考)
E 0 4 H 1/12	3 0 4	E 0 4 H 1/12	3 0 4 2 D 0 3 2
A 4 7 K 3/28		E 0 3 C 1/02	2 D 0 6 0
E 0 3 C 1/02		E 0 4 B 1/348	V
E 0 4 B 1/348		A 4 7 K 3/22	

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-312046 (P2001-312046)
 (62) 分割の表示 特願平4-180070の分割
 (22) 出願日 平成4年7月7日 (1992. 7. 7)

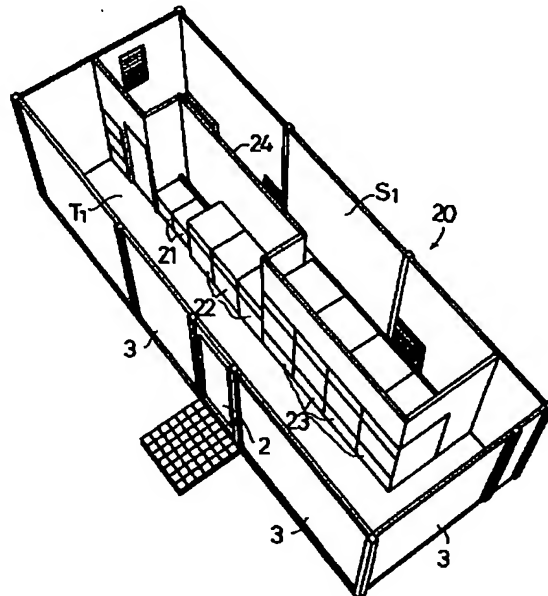
(71) 出願人 592147240
 野口 公志
 東京都世田谷区三軒茶屋2丁目21番2号
 (72) 発明者 野口 公志
 東京都世田谷区三軒茶屋2丁目21番2号
 (74) 代理人 100068755
 弁理士 恩田 博宜 (外1名)
 Fターム (参考) 2D032 FA01
 2D060 AB03 AB04

(54) 【発明の名称】 ユニットハウス

(57) 【要約】

【目的】 ユニットハウスの設置及び撤去を容易に行う。

【構成】 長方形箱状をなすユニット本体20内の幅方向中央付近に複数の洗濯機22と複数の乾燥機23がユニット本体20の長手方向に沿って隣接配置されている。ユニット本体20内の幅方向前方側にはユニット本体20の長手方向に沿って延びるように前方側通路T1が設けられ、この前方側通路T1に面して洗面台21が配置されている。一方、前記ユニット本体20内の幅方向後方側には、ユニット本体20の長手方向に沿って延びるように配管収容スペースS1が設けられている。従って、この構成により、ユニットハウスの設置及び撤去を容易に行うことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 長方形箱状をなすユニット本体内の幅方向中央付近に複数の洗濯機と複数の乾燥機とをユニット本体の長手方向に沿って隣接するように配置し、ユニット本体内の幅方向前方側に、ユニット本体の長手方向に沿って延びるように前方側通路を設けると共に、この前方側通路に面するようにして洗面台を配置し、前記ユニット本体内の幅方向後方側には、ユニット本体の長手方向に沿って延びるように配管収容スペースを設けたことを特徴とするユニットハウス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は衛生設備の一種である洗濯機や乾燥機を備えた移動式ユニットハウスに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば衛生設備を備えた建物として洗濯機や乾燥機を備えたコインランドリーや簡易シャワーボックス等がある。コインランドリーは一般に店舗内にてその営業を行っている。そして、営業するにあたり、店舗内の内装工事を完了後、洗濯機や乾燥機等の機器を店舗内に搬入し、さらにそれらの機器に対する配管等の給排水設備工事、電気設備工事をおこなっている。

【0003】又、簡易シャワーボックスにおいては例えば海水浴場に使用されるものが一般に知られている。この簡易シャワーボックスはプレハブ構造からなる既製品建物を設置現場へ移動及び設置、もしくは現場にて建物を建て、その後、シャワー機器等を建物内に搬入し、さらにそれらの機器に対する配管等の給排水設備工事等をおこなっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが、前者のコインランドリーにおいては現場にて洗濯機や乾燥機等の機器を搬入して工事を行っているので工期が平均30日～40日もしくはそれ以上の工期を必要としていたため工事費用が高くなってしまいう問題があった。又、コインランドリーは主に店舗にて営業されているので、その設置場所は比較的限定され易く、土地事情等により設置場所が偏在してしまう問題がある。そこで、わずかなスペースでどこにでも設置することができるコインランドリーが要望されている。

【0005】又、後者の簡易シャワーボックスにおいては、シャワー機器を現地に搬入し、搬入後は現場にて設備配管工事を行わなくてはならないため工期がかかるとともに、海水浴シーズンが終わると簡易シャワーボックスを撤去するために設置現場から移動しなくてはならない。さらに、簡易シャワーボックスにシャワー機器を複数設けると、給水圧が不足してしまうので各シャワー機器から排出する飛沫の勢いが消勢されてしまう問題がある。

【0006】本発明は上記問題点を解決するためになされたものであって、その目的は、設置場所への設置及び撤去を容易に行うことができるユニットハウスを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上記問題点を解決するため、長方形箱状をなすユニット本体内の幅方向中央付近に複数の洗濯機と複数の乾燥機とをユニット本体の長手方向に沿って隣接するように配置し、ユニット本体内の幅方向前方側に、ユニット本体の長手方向に沿って延びるように前方側通路を設けると共に、この前方側通路に面するようにして洗面台を配置し、前記ユニット本体内の幅方向後方側には、ユニット本体の長手方向に沿って延びるように配管収容スペースを設けたことを要旨とするものである。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、まず、本発明の関連発明をシャワーユニットに具体化した参考例を図1～図3に従って説明する。

【0009】図3に示すように、長方形箱状のシャワーユニット1は予め設置場所に配設された複数のブロックからなるブロック基礎B上に載置される。シャワーユニット1の正面出入口にはドア2が開閉可能に設けられている。シャワーユニット1周囲の側壁には複数の嵌め殺し窓3が設けられている。シャワーユニット1の屋根上における隅角部には複数の吊り金具4が固着されている。吊り金具4の上部はドーナツ状に形成されており、シャワーユニット1を吊り上げる図示しないクレーン等の吊上フックが係着できるようになっている。

【0010】続いて、シャワーユニット1の内部構造について説明する。図2に示すように、シャワーユニット1内の幅方向中央付近には、同シャワーユニット1内の右端から長手方向中央付近にかけて延出する間仕切壁5が立設されている。間仕切壁5の左端とシャワーユニット1内の左端との間には、衛生設備としての複数のシャワーボックス6がシャワーユニット1の長手方向に沿って隣接配置されている。シャワーボックス6内において前部は脱衣所6aとなっており、後部はシャワールーム6bとなっている。シャワーボックス6とシャワーユニット1の内側壁面との間には、前方側通路Tと配管収容スペースSが設けられている。そして、前記間仕切壁5に設けられた出入口5aは前方側通路Tと配管収容スペースSに連通されている。なお、間仕切壁5の前方は化粧台を備えた化粧スペースP1が設けられ、後方はシャワー設備の収容される設備設置スペースP2が設けられている。

【0011】次に、シャワーユニット1のシャワー設備機器について説明する。図1に示すように、設備設置スペースP2には給水口からの給水を加圧する加圧タンク9が配設されている。加圧タンク9には給水管8が接続

され、この給水管8には図示しない給水口に接続された給水用外部管15が着脱可能に接続されている。又、加圧タンク9には各シャワーボックス6の背面に設置されたそれぞれの湯沸器7に対し分岐する加圧給水管10が接続されている。そして、加圧タンク9からは加圧された給水を加圧給水管10を介して湯沸器7へ排出可能となっている。各湯沸器7は温水を供給する温水管11を介して各シャワーボックス6内に設置された図示しないシャワー装置に接続されている。

【0012】又、加圧給水管10上には前記加圧タンク9から加圧された冷水を直接供給する冷水管12を介して各シャワーボックス6へ接続されている。すなわち、温水は加圧給水管10、湯沸器7、温水管11を介して図示しないシャワー装置へ供給されるようになっている。一方、冷水は加圧給水管10、冷水管12を介して図示しないシャワー装置へ供給されるようになっている。

【0013】各シャワーボックス6の背面下部にはシャワー用排水管13が接続されている。そして、各シャワー用排水管13、加圧タンク9の下面及び設備収容スペースP2の床部には、それらに対して分岐した排水用外部管14が着脱可能に接続されている。排水用外部管14の排水口14aは下水等に連通された図示しない排水管の排水口に接続可能となっている。従って、各シャワーボックス6、設備収容スペースP2、加圧タンク9からの排水は排水用外部管14の排水口14aを介して排水されるようになっている。なお、シャワーボックス6の背面側においてそれぞれの湯沸器7に対し分岐する図示しないガス管が配管されており、このガス管はシャワーユニット1の背面側へ突出されている。又、シャワーユニット1内には予め電気配線がなされている。

【0014】続いて、このように構成されたシャワーユニット1の設置する方法について説明する。シャワーユニット1をスムーズに設置するためにも予めブロック基礎Bを設置現場に付設しておく。そして、トレーラ等にて設置現場へ搬送されたシャワーユニット1を図示しないクレーン等の吊上フックを各吊り金具4に係着する。次いで、シャワーユニット1を吊り上げ、ブロック基礎B上へ設置する。設置後、クレーン等の吊上フックを各吊り金具4から係着解除する。そして、給水用外部管15を給水管8へ接続するとともに、排水用外部管14を各シャワー用排水管13、加圧タンク9の下面及び設備収容スペースP2の床部に接続する。その後、排水用外部管14の排水口14aを下水等に連通された図示しない排水管の排水口に接続する。又、ガス管をガス供給口に接続し、さらに電気配線を電源に接続して設置作業は完了する。

【0015】このように、参考例のユニットハウスについては内装、給排水設備、ガス管、電源工事は予めシャワーユニット1内に取付られた状態で搬送され、設置現

場へ設置される。従って、従来と異なり内装工事、加圧タンク9、加圧給水管10、冷水管11、温水管12、ガス管等の配管工事及び電気配線工事を省略することができる。すなわち、シャワーユニット1をブロック基礎Bに据え付け後は、排水用外部管14を各シャワー用排水管13、加圧タンク9、設備スペースP2に対し接続、給水用外部管15を給水管8に対し接続及び図示しないガス管、電気配線を電源に接続するだけなので、搬入から据え付け迄の工期が平均30日～40日もしくはそれ以上の日数を要していたのをわずか半日で完了することができる。この結果、工期を大幅に短縮できたことにより、工事費を大幅に低減することができるとともに、営業を早期に実施することができる。

【0016】又、シャワーユニット1はクレーン等の吊上フックを吊り金具4に対し係着することにより、吊り上げて据え付けることができる。このため、移設、撤去及び増設もスムーズかつ容易にできるので事業の進展にあわせた展開が可能になる。特に、海水浴場付近に設置されたシャワーユニット1は季節的要因が高く、フルシーズン利用しない場合には好都合である。

【0017】さらに、シャワーユニット1の設置場所は店舗内は勿論のことながら、店舗外であってもわずかなスペースさえあればシャワーユニット1を据え付けることができる。しかも、ブロック基礎Bは簡易なものでよいため、少ない工事費で済む。

【0018】次に、本発明をコインランドリーに具体化した一実施形態について図4及び図5に従って説明する。但し、ランドリーユニット20外部の構成については、前記参考例として説明したシャワーユニット1と相当するもしくは同一構成であるためその説明を省略し、同一符号を付す。

【0019】ランドリーユニット20の内部構造について説明する。図5に示すように、ランドリーユニット20内には、同ランドリーユニット20内を前後に二分する間仕切壁24が立設されている。間仕切壁5の前面側にはランドリーユニット20の長手方向に沿って複数の衛生設備としての洗面台21及び洗濯機22が配置され、間仕切壁5の後方には、同間仕切壁5と面一となるようにランドリーユニット20の長手方向に沿って複数の乾燥器23が配置されている。間仕切壁24の前面とランドリーユニット20の内側壁面の間には、前方側通路T1と配管収容スペースS1が設けられている。そして、前記間仕切壁24の左端付近に設けられた出入口24aは前方側通路T1と配管収容スペースS1に連通されている。

【0020】次に、ランドリーユニット20における設備機器の配管について説明する。図4に示すように、配管収容スペースS1には加圧タンク9が配設されている。加圧タンク9には給水管8が接続され、この給水管8には図示しない給水口に接続された給水用外部管15

が着脱可能に接続されている。加圧タンク9は加圧給水管10を介して間仕切壁24の背面に設置された湯沸器7と、各洗面台21及び洗濯機22に接続されている。湯沸器7は温水を供給する温水管11を介して各洗面台21及び洗濯機22に接続されている。すなわち、温水は加圧給水管10、湯沸器7、温水管11を介して各洗面台21及び洗濯機22へ供給されるようになっている。一方、冷水は加圧給水管10を介して各洗面台21及び洗濯機22へ供給されるようになっている。

【0021】各洗面台21と洗濯機22の背面下部には洗濯用排水管26と洗面用排水管27が接続されている。そして、各洗濯用排水管26と洗面用排水管27、加圧タンク9の下面及び配管収容スペースS1の床部には、それらに対して分岐した排水用外部管14が着脱可能に接続されている。排水用外部管25の排水口25aは下水等に連通された図示しない排水管の排水口に接続可能となっている。従って、各洗面台21、洗濯機22、加圧タンク9、配管収容スペースS1からの排水は排水用外部管25の排水口25aを介して排水されるようになっている。なお、湯沸器7には図示しないガス管が配管されており、このガス管はランドリーユニット1の背面側へ突出されている。又、ランドリーユニット1内には予め電気配線がなされている。

【0022】次に、このように構成されたランドリーユニット20の設置方法について説明する。前記参考例と同様にしてブロック基礎B上に図示しないクレーン等の吊上フックを各吊り金具4（本実施形態では図示しない）に係着してランドリーユニット20を吊り上げ、ブロック基礎B上へ設置する。設置後、クレーン等の吊上フックを各吊り金具4から係着解除する。そして、吸水用外部管15を給水管8へ接続するとともに、排水用外部管15を各洗濯用排水管26、洗面用排水管27、加圧タンク9の側面及び配管収容スペースS1の床部に接続する。その後、排水用外部管25の排水口25aを下水等に連通された図示しない排水管の排水口に接続する。又、ガス管をガス供給口に接続し、さらに電気配線を電源に接続して設置作業は完了する。

【0023】従って、本実施形態のユニットハウスについては参考例と同様に吸水用外部管15、排水用外部管25及び図示しないガス管、電気配線を給排水口、ガス供給口、電源に接続するだけで容易に設置現場への据え付けを完了することができる。すなわち、搬入から据え

付け迄の工期を大幅に短縮できたことにより、工事費を大幅に低減することができるとともに、営業を早期に実施することができる。

【0024】なお、本発明は上記実施形態に限定されることなく、本発明の趣旨から逸脱しない範囲で以下のように適宜変更してもよい。

(a) 上記実施形態において吊り下金具4はユニット本体の屋根に設けたが、屋根以外に側壁等に設けてもよい。

【0025】(b) 上記実施形態ではランドリーユニットに応用したが、ランドリーとシャワーを兼ね備えたユニットハウスにしてもよい。

(c) 特定の設置場所を設けることなく例えば、ガソリンスタンドの空きスペースにランドリーユニットを設置したり、時期的要因の高いビルの建設現場イベント場、野外コンサート又は季節的要因の高いキャンプ場にシャワーユニット及びランドリーユニットを設置したりしてもよい。

【0026】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明によれば、ユニットハウスの設置場所への設置及び撤去を容易に行うことができる優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】参考例におけるユニットの屋根と後壁を省略した給排水管の配管を示す斜視図である。

【図2】同じく、屋根を省略したシャワーユニットの内部構造を示す斜視図である。

【図3】同じく、シャワーユニットの正面図である。

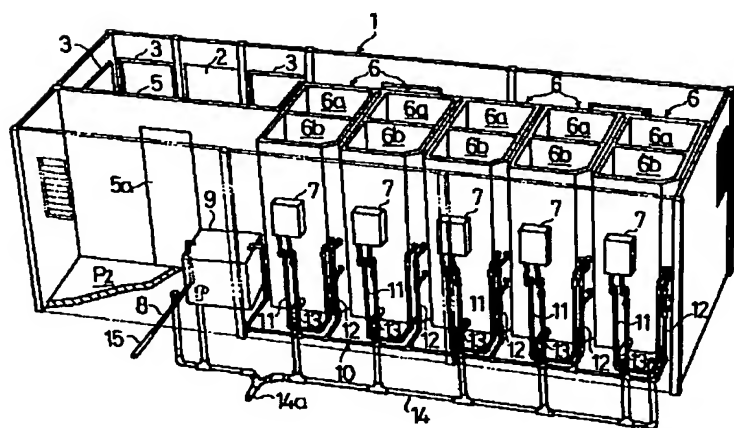
【図4】実施形態におけるユニットの屋根と後壁の一部を省略した給排水管の配管を示す斜視図である。

【図5】同じく、屋根を省略したコインランドリーユニットの内部構造を示す斜視図である。

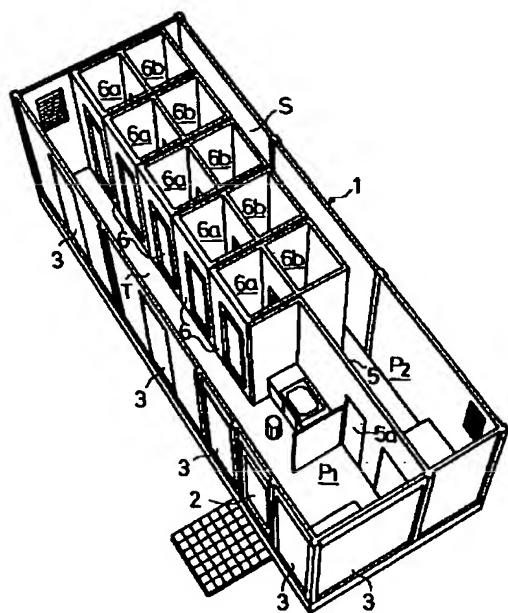
【符号の説明】

4…吊り部材としての吊り金具、6…衛生設備としてのシャワーボックス、21…衛生設備としての洗面台、22…衛生設備としての洗濯機、1…ユニット本体としてのシャワーユニット、20…ユニット本体としてのランドリーユニット、9…加圧タンク、8…給水管、13…（シャワー用）排水管、26…（洗濯用）排水管、27…（洗面用）排水管、15…（給水用）外部管、14…（排水用）外部管、25…（排水用）外部管

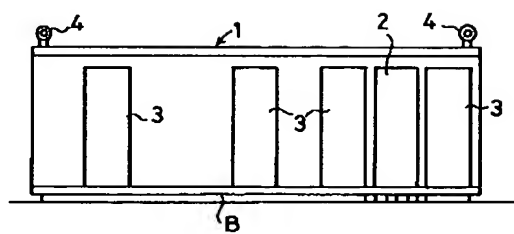
【図1】



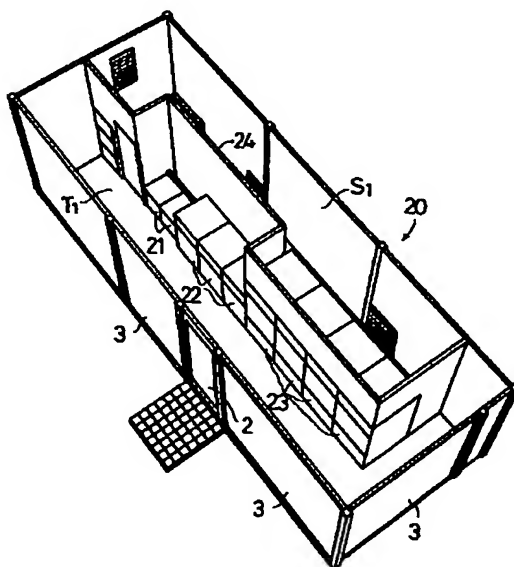
【図2】



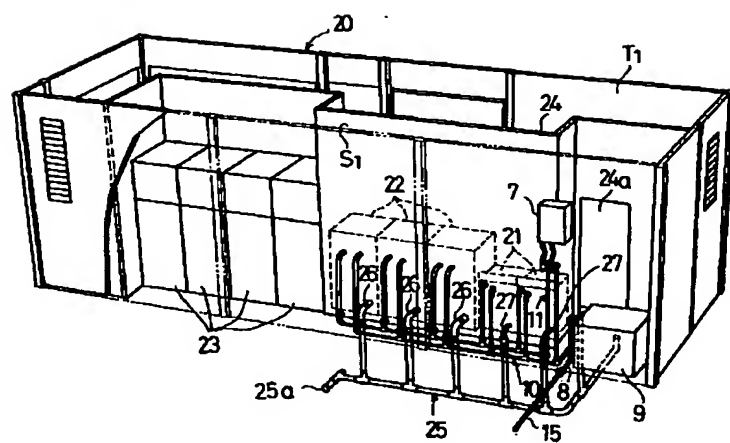
【図3】



【図5】



【図4】



PAT-NO: JP02002180683A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002180683 A
TITLE: UNIT HOUSE

PUBN-DATE: June 26, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NOGUCHI, MASAYUKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NOGUCHI MASAYUKI	N/A

APPL-NO: JP2001312046

APPL-DATE: July 7, 1992

INT-CL (IPC): E04H001/12 , A47K003/28 , E03C001/02 , E04B001/348

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily install and remove a unit house.

SOLUTION: Plural washing machines 22 and plural driers 23 are arranged adjacent to each other in the longitudinal direction of a unit main body 20 in the vicinity of the center in the cross direction in the unit main body 20 shaped like an oblong box. A front passage T1 is provided extending in the longitudinal direction of the unit main body 20 on the front side in the cross direction in the unit main body 20, and a washbowl 21 is disposed facing to the front passage T1. A wiring storing space S1 is provided extending in the longitudinal direction of the unit main body 20 on the rear side in the cross direction in the unit main body 2. By this arrangement, the unit house can be easily installed and removed.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☒ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINE(S) OR MARK(S) ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.